

土曜 ライフ・楽しむ

ワクチン シニアたちの体験談

わたし色

生活情報誌「悠悠と。」

編集長・真鍋康利



「ここには受けないという人はいないようだね。いたら説得しようと思っていた」が第一声。さらに「2回目も必ず受けてね」と続けました。

〇〇〇〇

「ここへきてようやく身近でも「ワクチンを接種した」という声が聞こえてくるようになりました。2回目も済ませた人、1回だけの人、接種券が届いて予約した人、券は届いたがまだ予約できない人など様々です。若い人には申し訳ないですが、医療関係者以外はシニアばかりです。

私も先日接種券を受け取り、早速かかりつけのクリニックに電話して7月半ばに1回目、2回目はその3週間後の予約が完了しました。それだけでなんだかホッとした気がしたから不思議です。

かねてその医師に「かかりつけ医はその患者のことをよく知っていて、どんな薬を処方しているかも承知しているので安心。急ぐなら集団接種会場に申し込みを」と聞かされていました。71歳の私は75歳以上の人の2回目の後になる予定と聞いていたので時期については納得しています。

〇〇〇〇

そんな中、異業種の仲間とリモートで話す機会がありました。この時期、当然ワクチンのことが中心。自分や家族が経験したこと、誰かから聞き及んだこと、新聞やテレビで知ったことなどワイワイガヤガヤと井戸端会議のように様々な話が披露されました。素人ならではの視点ですがなるほどと思うものもあり、心にメモしました。

・ 集団接種会場に行き、自分も含め、こんなに高齢者がいるのかと改めて驚いた。

・ 自分ばかりつけ医ですぐ予約完了。妻はネットも電話も通じず苦労していたが、夕方やっと予約できた。

・ 小児科で受けた妻は優しくしてもらって喜んでいました。

・ 産婦人科も穴場らしい。

・ 夫婦同時の接種は避けた方が良いそう。

・ 利き腕は避けた方が良い。

・ 詐欺事件にも注意。

・ 2回目に少しだるさや痛みを感じたが、大したことはなかった。など。

そこへ遅れて医師が登場。

〇〇〇〇

切り札と期待されるワクチン接種ですが、当初のもくろみから大幅に遅れています。ワクチン確保が思うようにいかなかったことが主因でしょう。交渉力の問題なのか、残念です。医療関連の皆さんには感謝するばかり、もうしばらくお願います。

免疫を獲得するためのワクチン接種。人口の6、7割を超える人が免疫を持てば終息に向かうとのこと。積極的にワクチンを接種しましょう。

最後にシニアの皆さんに注文。「自分は接種したからもう安心だ」と言って、はじけたりすることのないように。